

# 藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和2年 7月31日  
横浜市立藤塚小学校  
学校だより 8月号

TEL (351) 2314

FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

## 6年生として何かしたい

校長 藤田 陽子

間もなく夏休みを迎えようとするある日、6年生が校長室を訪れました。それは、次のような提案をするためでした。

### 提案のきっかけ

今年、コロナウイルスの影響で「ふじづかスポーツフェスティバル」の種目縮小が予想される。そうなると、次のことが考えられる。

- ・絆（縦割り活動）がない⇒交流活動がない⇒さみしい
- ・制限された生活

そこで

○全校のみんなに「楽しい」「やってよかった」という気持ちになってほしい

○6年生として何かしたい。

☆そこで次のことを提案したい。

### 提案

「心を一つに全校ダンス」

具体的には・・・



今年度は、感染症予防対策のため、絆グループの活動や他学年同士の交流が難しい状況です。6年生は、その状況を理解しつつも、そのような状況だからこそ、藤塚小の大きな行事である「ふじづかスポーツフェスティバル」を通じ、他学年の友だちとのつながりをつくり、みんなで一緒に活動に取り組むことができないだろうか、という思いをもっていたのです。そして、全校児童での取組企画を考えて提案の準備を重ねていました。

このような6年生の提案を受け、「心を一つに全校ダンス」に全校の児童・教職員が取り組むこととなりました。

今後6年生は全校ダンス委員会を中心に、機器の活用や紙面での意見交流など、感染症対策のために様々な工夫をしながら提案の実現に向かい、活動に取り組んでいきます。同じ目的に向かい取り組む子どもたちが「全校で同じ活動に一生懸命取り組むことができた。やってよかった。」と感じられるように互いの考えや取組の様子などを、離れて活動する子どもたちに伝えていくのは教職員の役目です。

6年生の思いと努力、それを受け取る他学年の活動、児童の活動を支える教職員の支援、それらが今後どのような全校活動へと育っていくのか、全校で試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいきます。今後の学校だよりの中で、取組の過程や児童の成長の様子をお伝えしていきたいと思います。